

# 福島県郡山市の市民と登山で交流



9月2日 出発前に山小屋のスタッフと

中野市公民館報

2012 **10**  
 No.91  
(通巻 No.623)  
 発行 中野市中央公民館  
 編集 文化なかの編集委員会  
 〒383-0025  
 中野市三好町一丁目4番27号  
 TEL 0269-22-2691  
 FAX 0269-26-2342

## 復興を祈り安達太良山へ

福島県二本松市の安達太良山へ中野市から12名、郡山市から3名が参加し交流を深めました。交流の始まりは4年前に安達太良山の馬車道で知り合った郡山市の皆さんから、「ウラジロヨウラク」の花の名前を教えていただいた時から始まります。

市民の方から「昨年の東日本大震災で被災された皆さんはお元気だろうか。できればもう1度訪問し、お会いしたい」というご意見をいただき、北部公民館主催、中野山岳会の全面協力をいただき実現する事ができました。参加された方から「交流登山に参加させていただき、山を通じて災害に遭われた方々の生の声をお聞きし、改めて復興への道のりの厳しさを感じました。そんな中で、心強く頑張っておられる郡山の人々を思い、心から復興を祈りました。霧の安達太良山は印象に残った2日間でした」と感想をいただきました。

### 今月号の特集

・ミュージカルを楽しもう！  
 ・秋桜コンサート

## あおぞら

四月に配属されてきた新入社員は、プライドは高いがコミュニケーション能力が低い。報告、連絡、相談といったもの一切がなく、自分だけのルールで仕事を進めていくので、非常にやり難い。

その彼が、夏の繁忙期に三連休を申請した。秋田県に住む恋人に会いに行くためだという。上司が許可した休暇に、私が文句をいう筋合いはないが「連休するので、その間の仕事を頼みます」とか「ご迷惑をおかけしました」という言葉は一言もなかった。

正社員である彼の待遇については、よく知らないが、ボーナスも支給されたはずである。

一方、パートタイマーである私は十年以上も勤務しているがボーナスというものは一円ももらったことがない。それどころか人件費の削減とやらで勤務時間が月に二十時間以上もカットされているのが現状だ。彼が不在の間の仕事は、当然のように私達がやっていたというのに……。好きなことを仕事にしているのだからよしとしよう、と思う反面、「正社員」「パートタイマー」の格差を見せつけられ、怒りを覚えた暑い夏であった。

(清水)

# 第50回中野市市民音楽祭で最後のステージ発表!

## 栄村の震災復興を願い

〜義援金を栄村長へ〜

中央公民館では、準備段階を含めて4年間にわたって子ども音楽講座『ミュージカルを楽しもう!』を開講してきました。

この講座は、子ども達がミュージカルを通して豊かな表現力を培うとともに、社会に貢献できる大人に育つことを願ってスタートしました。今年も中央公民館の講堂で練習を重ね、8月25日開催の第50回記念市民音楽祭で、昨年同様特別出演をさせて頂いた市民の皆様に成果をご覧いただきました。

中心講師には毎年ご指導いただいた東京学芸大学准教授嶋崎裕美先生をお迎えし、歌とダンスと芝居を総合した講座を開講しました。参加した小中高生21人は、各生方から熱心なご指導をいただき、Dandelion(タンポポ)というチーム名を

プリントしたTシャツで気分を盛り上げました。また、子ども音楽講座は今年で最後ということもあって、子ども達は一層まとまりをもって精一杯練習に汗を流してきました。当日の発表



厳しいダンスレッスンを重ねました



みんなの心が一つに



島田栄村長に義援金を渡しました

市民音楽祭の前日リハーサルが終了した後、子ども達が嶋崎先生へ感謝の気持ちを込めて、「栄光の架橋」の歌のプレゼントがあり、感動的な雰囲気包まれました。また、市民音楽祭の当日、全てが終了したあとの解散式まとめの会では、今までご指導いただいた嶋崎先生に、あらためて子ども達から「未来への一歩」

ではユーモアたっぷりの場面も取り入れたりしながら、お客さんに喜んでもらえるステージづくりに努めました。発表後、市民の皆さんからは大きな拍手をいただき、最後のステージにふさわしく子ども達も満足感や楽しさ、喜びに浸ることができました。



最後に嶋崎先生を囲んで

の歌声プレゼントがあり、厳しいなかにもあたたかなご指導のおかげで大きく成長できたことが語られました。最後に嶋崎先生から子ども達へまとめのお話があり、いまの成長した姿で終わってしまうのではなく、さらに成長してほしいことが述べられました。

子ども達はミュージカルを通して、栄村の震災復興のお役に立ちたいということで昨年募金活動が続けてきており、先日子ども達や嶋崎先生が栄村へ伺い、島田村長に直接お渡ししました。最後に講師の嶋崎先生をはじめ関係者に感謝申し上げ、子ども達の一層の成長をねがってやみません。

# 秋桜コンサートで聴衆が魅了

## 若き演奏家に継承される晋平先生の作品

9月2日(日)、中山晋平記念館で秋桜コンサートが開催され200名を超える参加者がありました。出演者は、バリトン歌手の藤原直之さんと、中野市出身のピアニスト津布楽杏里さんです。コンサートを開催するきっかけは、津布楽さんが4月に



藤原さんの声と表現に魅了されました



オペラ〈ドン・ジョヴァンニ〉より  
カタログの歌

中山晋平記念館を訪れ、晋平先生の生誕地であり、自分を育ててくれた中野市でコンサートを開催したいと申し出があり、晋平記念館が応える形で実現しました。藤原さんは、東京藝術大学大学院音楽研究科修士課程オペラ科を修了され、モーツァルト《フィガロの結婚》のフィガロ役、《ドン・ジョヴァンニ》のレポレッツォ役等数々のオペラに出演されておられます

す。津布楽さんは埼玉大学の大学院を修了され、これまで合唱団、声楽家の伴奏者として出演され、最近子ども向け歌曲を中心とした作曲活動にも力を注いでおられます。

コンサートでは、外国歌曲からシューマンの「ふたりの擲弾兵」やモーツァルトのピアノソロとオペラ曲、休憩をはさんで中山晋平先生作曲の「しゃぼん玉」「ゴンドラの唄」「鉾をおさめて」などの日本歌曲や滝廉太郎、池辺晋一郎、さとうきび畑の作詞、作曲で知られる寺島尚彦の作品等が演奏されました。また立原道造の詩に津布楽さんが作曲した《暁と夕べの詩》より「やがて秋」が初演されました。



〈鎌倉は子守唄〉を弾かれる津布楽さん

藤原さんは「晋平先生の《鉾をおさめて》は、私が歌を始めた当初から歌っていた曲で、東京藝大の入学試験の課題曲の一つに選ばせていただいた曲です。それが、今回作曲者にゆかりのこの地で歌う事ができ、その縁に不思議な思いを感じました。会場では、皆さん真剣に聴いてくださり歌っていて嬉しかったです。そして、みなさんは晋平先生の歌が本当に好きなんだなと実感しました」、津布楽さんは「私は故郷の中野の風土に深い愛着があり、親しみを覚えています。今後も音楽の面で少しでも中野市に貢献できればと考えています。今回は、たくさんの方にご協力をいただき感謝です」とそれぞれに感想をいただきました。



コンサートを終え笑顔で

# こんにちは 分館

高遠区は、昭和58年に高遠研修センターを新築して、公民館活動に利用しています。

年明け早々のどんど焼きから公民館活動が開始します。

4月には、区民全員参加による「桜の花見」が開催されます。高遠山ふもとの不動尊となり空き地にテーブルを並べ、大人も子どもも一緒に桜の花びらが舞う下で大宴が行なわれます。焼きとりや焼きそば、おでん、フ

## 高遠分館

ランクフルト等が食べ放題で、楽しく時間を過ごします。

6月には、球技大会のマレットゴルフが開催されます。間山ぼんぼこ温泉マレットゴルフ場で熱戦を繰り広げます。

秋の11月には、「文化祭」が農家組合と共催で開催されます。各戸で育てた農産物を持ち寄って「品評会」で今年の農産物の出来を祝います。

高遠地区は、全戸で21戸という小さな集落ですから、各戸が仲良く、公民館事業には全戸の参加協力を得ながら楽しく事業活動を行なっています。

(高遠分館長 田川新治)



高遠山ふもとで花見会

## ふるさととの歴史

高遠の地名の起りは、字義だと高く遠い土地をさす言葉だが、更科と間山方面からの川によってつくられた天井川（高塘・高い堤）に囲まれた地形からきているとみられ、中世からの地名である。

更科と高遠の境界の尾根上には、長さ51メートル余りの前方後円墳がある。中野市東南部を基盤に成立した古墳である。平成11年（一九九九）中野市教育委員会によって発掘調査された。方向は磁北に向けている。主体部（埋葬部）は後円部にあり、墓こうに主体部が2基あり、主軸と直交している。北の一号棺は長さ4メートル余り、

## 高遠と古墳

横68センチメートル、深さ36センチメートルの箱式の棺で、粘土に覆われていた。副葬品は剣3、鍬鋤先1、ヤリカンナ1、管玉4、ガラス玉5が発見された。これは弥生時代から伝統の葬制とみられる。

二号棺は畿内の古式棺にみられる割竹型木棺で、下に川原石を敷き、棺の周りは木炭に覆われていた。木棺の長さ5.7メートル、横1.2メートル、深さ60センチメートルで、両端は平板石に覆われていた。棺内には一号棺と同じく赤色顔料がみられ、副葬品は鉄斧、ヤリカンナ、刀子各1であった。封土から発見された土器片は在来系と

外来系があり、4世紀前半の築造とみられている。

このように長野県最古の前方後円墳であり、森将軍塚古墳より半世紀古く、市内の七瀬双子塚より一世紀古い。しかし、高遠山古墳からは鏡が発見されていない。この被葬者は畿内の政治勢力との結びつきが前段階か、何らかの理由で強固でなかったとみられる。

天正10年（一五八二）上杉景勝は夜交左近助に新野をあてがっている。近世では、高遠村は小村ながら名主があり、中野代官所の支配を受けていた。明治8年（一八七五）耕地錯綜のため新野村と合併し、明治22年（一八八九）日野村が成立した。

(檀原 長則)

## 秋の市民登山教室参加者募集中

秋の市民登山教室を実施します。

参加してみたいかがですか。



日時 10月14日(日) 午前4時45分集合 5時出発  
 登山場所 茅ヶ岳(山梨県) 集合場所 中央公民館  
 定員 35名 参加費 10,000円  
 講師 中野山岳会  
 申込み 中央公民館 受付中  
 事前説明会 10月10日(水) 午後7時 中央公民館  
 反省会 10月31日(水) 午後7時 中央公民館

## 2012中野市

## 国際交流の集い

日時 10月14日(日) 午後2時～4時30分

場所 中央公民館3階講堂

外国出身の方々と日本人の国際交流パーティーを開催します。文化の紹介や歌や料理を楽しみながら楽しいひと時をすごしましょう。友人、ご家族などみなさんお誘いあわせて、ぜひご参加ください。子ども達もぜひ来てください。



# 今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	歴史講座 ～昔の千曲川の利用～	10月18日・11月1日 11月15日 (毎回木曜日) 午後7時～8時30分	中央公民館 講堂(3階)	寺島 正友 先生 館林 弘毅 先生 河野 實 先生	<定員>70名程度 <受講料>無料 <受付中>
	親子の楽しい食育教室 ※楽しく調理実習をして、食育について学びましょう！ お楽しみプレゼント付き	11月17日(土) 午前10時～午後1時	中央公民館 料理実習室 (2階)	中野市食生活 改善推進協会の 皆さん	<定員>36名 <対象>親子(子どもは小学生) <参加費>食材費200円 <持ち物>エプロン・三角巾・ ふきん・タッパー <申込み>10月22日(月)から
	<b>公民館ギャラリー 中野きりえの会</b>				
西部公民館	自宅でできるアロマテラピー キッチンアロマ講座 ※エアーフレッシュナー・ 石鹸・ハンドマッサージ オイルを作ります。	10月22日・10月29日・ 11月5日(各月曜日) 午後7時～9時	西部公民館	熊代 俊恵 先生	<定員>20名 <教材材料>1,500円(3回分) <受付>10月5日(金)から ※アロママッサージの方法も習います。
	秋の摘草と 薬膳料理講座	10月15日(月) 午前10時～午後1時	西部公民館 料理教室	(有)えにし看護師・ 薬膳アドバイザー 大澤智恵子 先生 レストラン あ・うん 料理長 小島 聡 先生	<定員>15名 <食材費>500円 <受付>受付中 ※地産地消で旬の食材と健康を 考えて、おいしい料理を作ります。
	男のための テーブルガーデニング ※盆景、モルタル盆栽、アレン ジ苔玉などを作ります。	10月27日・12月1日・ 12月22日(各土曜日) 午後1時30分～3時30分	西部公民館	テーブルガーデニング コーディネーター 碓井 智子 先生	<定員>15名(男性のみ) <教材材料>3,000円(3回分・ 4作品予定) <受付>10月5日(金)から <持ち物>ハサミ、エプロン、 薄手のビニール手袋、作品持帰 りの袋
豊田公民館	宮沢賢治の 宇宙を楽しむ	11月5日(月) 午後1時30分～3時30分	豊田公民館	近代文学研究者 堀井 正子 先生	<定員>50名 <受講料>無料 <持ち物>筆記用具
	ストレッチ& ピラティス	10月30日・11月6日・11月 13日・11月20日・11月27日 (毎回火曜日) 午後3時30分～5時	豊田公民館	脇阪れい子 先生	<定員>30名 <受講料>無料 <服装>運動のできる服装 <持ち物>ストレッチ用マット (なければバスタオル)

**中野市文化芸術協会 40周年記念事業**

本村俊介 **音象**  
コンサート

日時 平成24年 **10月27日(土)**  
午後6時 会場/6時30分 開演

会場 **中野市市民会館 ホール**

主催 中野市文化芸術協会・中野市中央公民館

**入場  
無料**



●出演者●

本村俊介  
— 笛・津軽三味線 —

池上真吾  
— 箏 —

西田ひろみ  
— バイオリン —

池田安友子  
— パーカッション —



秋のバラ／柳沢（小林幸成）



水溜り／新井（月岡尚雄）



チョウトンボ／浜津ケ池（春原寛）



ヒヨドリジョウゴ／高社山（湯本明雄）

花と季節の写真募集

宛先

〒383-0025  
中野市三好町一丁目4番27号  
中央公民館

☎222・2691  
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を集めます。未発表写真に限ります。四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）、氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

輝いています

り回り球を蹴りま  
た走る。文字通り  
輝いてる彼等に興  
味を持った方、一  
緒に輝きたい方、  
メンバーは随時募  
集しております。  
未経験者可男女も  
問いません！詳し  
くは上田泰貴さん  
までお願いします。  
☎080-12  
16-2205。



ロベルカル信州フットサルクラブの皆さん

みなさん、フットサルつてご存知ですか？そうサッカーみたいな：意外にも市内に現在16チームもあり、頂点を目指しリーグ戦の真つ最中！その中で現在2位の『ロベルカル信州フットサルクラブ』は平成14年に結成され4年前には県大会で優勝した経験も：今年も狙うは優勝！  
夜、中野平中学校の体育館に集まった彼等は、一日の疲れも無かったかのように走り回り球を蹴りま